



06

通巻 第2710号
2015年8月7日発行

1960年創立
昭和35年2月5日



第2510地区
重点課題

●2015-2016年度 IRテーマ
世界へのプレゼントになろう
2015-16年度IR会長
K. R. ラビンドラン

- ①クラブ戦略計画への支援
- ②新会員のフォロー支援
- ③クラブサポート強化

●本日 8月7日(金)のプログラム

◎「小樽観光ガイドクラブの活動」
スピーカー:青塚 和春 氏(小樽観光ガイドクラブ会長)

●来週 8月14日(金)のプログラム

◎休会となります。

●再来週 8月21日(金)のプログラム

◎「活動報告書」 工藤前幹事
◎ 国際奉仕委員会担当例会
スピーカー:松浦国際奉仕委員長

●第5回例会報告 7月31日(金) 「夜間納涼例会」 於 ニュー三幸 麦羊亭



1ヶ月が経って

小樽南RC 廣部 会長

今年度も一ヶ月が過ぎ、大過なくスタートを切れましたこと、皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

今回、会報の紙面を割いていただけるとのこと、あらためて、会費等のお金の流れについて、ふれておきたいと思います。

今期は、会費と特別会費、それと第6G負担金を合わせて、上期96,000円、下期95,000円を既に徴収済、あるいは、徴収予定となっています。クラブ会員としての負担金は、その他に、新会員の方は入会金、先日の潮まつりへの募金のような不定期の、いわゆるざる回し、それと、いろいろな名目の「ニコニコボックス」への協力があります。ロータリー財団と、米山奨学会への寄付金もありますが、これらは、あくまでも寄付ですので、別物と考えてください。

集められたお金のうち、入会金、会費はクラブ運営費に充てられます。運営費は、例会の費用、事務費、R I や地区への拠出金などです。注意すべきは、クラブの奉仕事業のお金は、会費に含まれていないということです。奉仕事業は前年度でいうと、小樽青少年国際交流会議、市内優秀高校

生表彰などです。これら奉仕事業のお金は、会費からではなく「ニコニコボックス」に依存しています。もともと、奉仕活動の都度、会員から自発的にお金を出してもらうのが本筋ですが、煩雑なものと、一度にではなく、少しずつプールしておくほうが集めやすいという事情から、「ニコニコボックス」を利用しているわけです。こう見ると、奉仕活動への寄付として、そのたびにお金を集めるざる回しが、案外ロータリーの考え方に近いと言えるかもしれません。

今後とも、「ニコニコボックス」への自発的な協力をよろしくお願いいたします。

■メーキャップ受付■ 7月31日(金)分

澁谷 繁男氏・久松 智章氏
加地 幸広氏・泉 侑氏 (小樽RC)

国際ロータリー第2510地区第6グループ
Rotary **第1回 会長・幹事会**
●平成27年8月1日(土) ●ニュー三幸 3階 白樺



● 司会 廣瀬副会長



● 乾杯 廣部会長



納涼夜間例会

スナック

ニュー三幸 麦羊亭1階



● 中締め 加藤直前会長

